

1 主題名 わかり合うために B (11) 相互理解、寛容

2 教材名 「ブランコ乗りとピエロ」(東京書籍 新しい道徳 5年)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、内容項目B (11)「相互理解、寛容」を受け「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること」をねらいとしている。人の考えや意見は多様であり、それが豊かな社会をつくる原動力にもなる。そのためには、多様さを相互に認め合い理解しながら高め合う関係を築くことが不可欠である。しかし、人は自分の立場を守るため、つい他人の失敗や過ちを一方的に非難したり、自分と異なる意見や立場を受け入れようとしなかったりするなど、自己本位に陥りやすい弱さをもっている。この時期、自分自身が成長の途上にあり、至らなさをもっていることなどを考え、自分を謙虚に見ることについて考えさせることが大切である。相手から学ぶ姿勢を常にもち、自分と異なる意見や立場を受け止めることや、広い心で相手の過ちを許す心情を育む必要があると考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態

(調査日 令和*年*月*日 調査人数 *名)

質問内容	回答
① 「わかり合う」と聞いてイメージすることはどんなことですか。	お互いが理解すること *人 意見・考えが合うこと *人 お互いが納得すること *人 相手を知る・聞くこと *人 気が合うこと *人 話がかみ合うこと *人 一心同体 *人 話しているときに相手が「どういうこと。」と確認してくれること *人 わかりやすく伝えられなかった、伝えてもらえなかった *人
② 友達とわかり合えなかったことはありますか。	よくある *人 たまにある *人 ほとんどない *人
③ ②のとき、どんな気持ちでしたか。	悲しかった *人 嫌な気持ち *人 気まずい *人 困った *人 自分のこともわかってほしかった *人 どうしてわかってくれないのだろう *人 相手の意見を優先しよう *人 わかり合いたかった *人 相手と自分は合わないかもしれない *人 言い合いをなくしたい *人 どうやって解決しよう *人 相手が自分と同じようには考えていないのだと思った *人 解決できず、何もしないで終わってしまった *人
④ ②のとき、解決できましたか。	解決できた *人 だいたい解決できた *人 解決できなかった *人
⑤ どのような方法で解決しましたか(しようしましたか)。(複数回答)	話し合った *人 譲った・譲ってもらった *人 ジャンケンをした *人 別の方法で解決した(しようとした) *人
⑥ ⑤で「別の方法」と答えた人は、どんな方法ですか。	一度冷静になってから、自分の悪いところなどを考えて謝るか、誰か間に入ってもらう

実態調査から、「わかり合う」の言葉がもつイメージを「相手を知ること・聞くこと」のように相手を受け入れる考えは少数で、多数の児童が「お互いが理解すること」「意見や考えが合う」のように相手と合うことと捉えていることが分かる。このことから、相手の思いや自分との違いを理解し認め合うところまでは考えがまだ及んでいないと考える。また、*%の児童が日々の生活で友達とわかり合うことができなかった経験がある。その時に嫌な気持ちを感じたり、悲しく感じたりと、わかり合えなかったことでネガティブな気持ちになった児童が多かった。また、わかり合えなかった時に解決できたかどうかについては、解決できた児童が*%、だいたい解決できた児童が*%と、自分たちで話し合いや譲り合いをして解決していると認識している児童が多い。しかし、実際の児童の様子は、「自分にも言い分がある」という理由ではあるが、相手の意見を受け入れられなかったり、折り合いをつけて物事を決められなかったりしており、そのようなことを何度も繰り返している。年度当初から、学校生活の様々な場面で指導を続けてきたが、年度の後半に入る時期にあたり、改めて「わかり合うこと」の大切さについて考える機会を設ける必要がある。また、学力面で困難を抱える児童も多く、集中力が続かなかったり、長い文章の読み取りや、文章で表現することが難しかったりする。そのため、自分の気持ちをわかりやすく伝えることが課題となっている。

(3) 教材について（ブランコ乗りとピエロ）

本教材に登場するサーカス団のリーダーであるピエロは、スター気取りで真面目に話を聞かないブランコ乗りのサムに腹を立てていた。しかし、大王の前で素晴らしい演技を終えたサムの姿を見たピエロが、自分の出番を奪われたにもかかわらず、サムの抱えていた気持ちに気づき、サムを許す。登場人物の気持ちを多角的に考えることで、相手を理解し認める寛容さや自分も相手と同じだという謙虚な心を持ち、広い心で人と接する大切さに気付かせたい。

(4) 指導観

導入では、実態調査の結果に触れ、これまでの友達との関わり方について想起させる。展開前段では、まず本学級の実態を踏まえ、登場人物の気持ちを想像して整理するために、教材文の場面が変わるタイミングで一度範読を止める。場面の切り替えや登場人物の心情が変化していく教材文において、児童がなるべく混乱することなく、登場人物の心情を理解できるようにする。次に、登場人物の気持ちを整理する活動では、シンキングツールを活用する。ピエロ、サム、団員たちのそれぞれの気持ちと、三者の共通している気持ちを可視化して整理し、多角的に考えられるようにしたい。全体の前で自分の意見を発表することが苦手な児童が多いため、少人数のグループで話し合いや考えの共有化を行う。その際には、ICT 機器の共有機能を使い、パーソナルワークで書いたシンキングツールを共有できるようにし、友達と自分の考えの相違点に気付けるようにする。そして、ピエロの心からサムを憎む気持ちが消えた理由を考える。ICT 機器でキーワードを可視化できるツールを活用し、単に登場人物の心情理解だけで終わることのないよう、ねらいへ迫るキーワードを取り上げたい。話し合いを通して、ねらいとする道徳的価値についての考えを深めることができるようにする。展開後段では、「わかり合うために大切なこと」について、自分なりの言葉でまとめる。先述のねらいへ迫るキーワードにも着目させ、文章表現が苦手な児童も友達の意見をヒントにしながら言葉でまとめられるようにする。授業を通して考えたことを基に、ねらいである自分と異なる意見や立場を尊重し、謙虚な心や広い心で人と接しようとすることの大切さに気付かせたい。

4 本時の指導

(1) 本時のねらい

登場人物の心情の変化についてグループで話し合うことを通して、自分と異なる意見や立場を尊重し、謙虚な心や広い心で人と接しようとする道徳的心情を育てる。

(2) 準備・資料

実態調査結果、場面絵、児童用タブレット、教師用タブレット、シンキングツール拡大図、ホワイトボード、モニター

(3) 展開

	学習活動と主な発問 ◎中心発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点⑨評価 ☆キャリア教育の視点
導入	1 友達との関わり方について、これまでの自分自身の生活について想起する。 ○ 「わかり合う」とは、どういうことでしょう。 ○ これまでに、友達とわかり合えなかったことはありますか。 2 学習課題を確認する。 「わかり合うために大切なこと」は何だろう。	・相手の話を聞く。 ・仲良くすること。 ・休み時間の遊びを決めるときに意見が割れて、遊ぶ時間が減ってしまった。 ・順番決めでもめたことがある。	・「わかり合う」という言葉がもつイメージや事前アンケートの結果を共有することで、ねらいとする価値への方向付けをする。
展開	3 教材「ブランコ乗りとピエロ」の前半部分を読み、話し合う。 ○ ピエロ、サム、団員たちはどんな気持ちでしょう。 (1) パーソナルワークをする。 (2) クラスワークをする。 4 教材「ブランコ乗りとピエロ」の後半部分を読み、話し合う。 ◎ ピエロの心からサムを憎む気持ちが消えたのは、どうしてでしょう。 (1) パーソナルワークをする。 (2) グループワークをする。 (3) クラスワークをする。	・サムが憎い。 ・調子にのっている。 ・自分だって演技したい。 ・大成功したじゃないか。 ・客が喜んでいるからいいだろ。 ・いつもいい気になって。 ・サムだけ目立っている。 ・ピエロがかわいそう。 ・サムの演技は素晴らしい。 ・サムを認めた。許した。 ・自分も同じ気持ちだった。 ・気持ちが理解できる。 ・みんなで協力することが大切。	・教材文の場面が変わるタイミングで一度範読を止め、登場人物の気持ちを想像して整理できるようにする。 ・シンキングツールを活用し、気持ちを可視化して整理し、多角的に考えられるようにする。 ・登場人物の三者の視点で考えることが難しい場合は、多角的に考えられるよう、問い返しの発問を加える。 ・全体の前で自分の意見を発表することは苦手である児童も参加できるように、タブレットの共有機能を使い共有化する。 ・キーワードを可視化できるツールを活用し、ねらいの焦点化と時間の確保を図る。 ・単に登場人物の心情理解だけで終わることのないよう、ねらいへ迫るキーワードを取り上げる。 ・クラスワークで浅い表現が続いてしまう場合は、問い返しの発問を加えて児童の思考を引き出し、話し合いを進めていく。

	5 自己を見つめ、友達との関わり方について、考えを深める。 ○ 自分なら、「わかり合うために」どんなことを大切にしますか。 (1) パーソナルワークをする。 (2) クラスワークをする。	・相手の気持ちを考える。 ・違いを認める。 ・自分も同じようなことがあるので、許す。 ・相手と自分の両方の意見を取り入れる。	⑦ 登場人物の心情の変化を話し合うことを通して、自分と異なる意見や立場を尊重し、謙虚な心や広い心で人と接しようとする心情を高めている。(発言、ワークシート) ・先述のキーワードにも着目させ、文章表現が苦手な児童も友達の意見をヒントにしながらかん分なりの言葉でまとめられるようにする。 ・導入時の学習課題と同じ問いを示すことで思考の変容に気付けるようにする。
終末	6 教師の説話を聞く。 7 学習の振り返りをする。	・〇〇さんの考えを聞いて、□□が大切だとわかりました。 ・これまでは〇〇だったけど、これからは□□したいと思いました。	・児童の普通の生活の様子を取り上げた説話をし、教材と自分の生活を結び付けられるようにする。 ☆ 今後、自分にも同じようなことが起きたら、どのように行動するか考える。 (キャリアプランニング能力) ・学習の振り返り「B自分の変化・成長(本校の振り返りの視点)」の視点で振り返りをする。学習を通して自分の考えの変化や成長を自分なりの言葉でまとめられるようにする。